

# 日EU・EPA交渉の「大枠合意」 に断固抗議する委員長談話

本日、日EUとのEPA交渉が「大枠合意」と発表された。しかしながら、農畜産物が工業製品の犠牲になっており、北海道農業に致命傷を与えかねない拙速な「大枠合意」に断固抗議する。

報道によると、農業分野の合意内容は、北海道農業にとって重要なチーズなどの乳製品や豚肉、小麦粉調製品、加糖調製品など数多くの品目で、関税撤廃・大幅削減等を約束するものであり、撤回を強く求める。

政府は、これまでの交渉内容について、かたくなに情報開示を拒み続け、国会論議もなされないまま、総理の意向を背に、「合意ありき」で結論を急いだやり方は、断じて許されるものではない。

このままでは、食料安全保障の要となる国内生産の縮小をもたらし、安全・安心な食料供給や農業経営の安定を損なうことになる。

さらに、農業者をはじめ関連産業などで働く人々の雇用を失わせ、地域経済・社会にも甚大な影響を及ぼすこと必至である。

今後、国民・道民各層の理解と協力を得ながら、国民の命の源である食料生産や環境・国土保全を担う農業・農村を守るために、引き続き組織一丸となって強力な運動を展開する。

2017（平成29）年 7月 6日

北海道農民連盟

委員長 西原正行